

日本史籍講読6A－II

科目ナンバリング JPH-228
選択必修 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

幕末維新期に記された史料をテキストとして、史料の読解力を養い、史料の背景にある時代状況や地域の在りようについて調査・考察する力を身につける。テキストには、各藩もしくは各地域における西洋文化の受容・導入に関する史料を取り上げる。各自一つの史料を担当して、段階的に3回発表を行うことで内容の理解を深めるとともに、調査方法を自ら探索していく。他の受講者の担当史料についても、自分の担当箇所と対照させながら互いに活発に議論を行い、それぞれの地域社会における対応の諸相を考察することで、幕末維新期に対する理解を深める。

2. 授業の到達目標

近世史料の読解力を養うとともに、関連する史料や文献の探し方、調べ方を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

- ①予習に基づいた、毎回の授業への参加度(20%)
- ②発表担当の際の準備度合いおよびその発表内容(60%)
- ③秋期末に提出するレポートの内容(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

若尾俊平 図録 古文書入門事典 柏書房
保谷徹 幕末維新論集 幕末維新と情報 吉川弘文館
井上勲 日本の時代史 20 開国と幕末の動乱 吉川弘文館

5. 準備学修の内容

- ・発表者が担当する史料について、発表者以外の受講者も各自で読み方や意味を調べ、文意と内容を把握して授業に臨む。
- ・必要に応じて他の史料や参考文献にあたり、背景となる政治や社会状況についても説明できるようにする。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の予習は必須である。
- ・史料の読み方や内容を確認し、分からないところをはっきりさせた上で授業に出席すること。
- ・議論へも積極的に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容・評価等についてのガイダンス／テキストの分担および発表順番決定
- 【第2回】 プレ発表①:担当する史料の概要
- 【第3回】 プレ発表②:担当する史料の概要
- 【第4回】 プレ発表③:担当する史料の概要
- 【第5回】 本発表①:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第6回】 本発表②:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第7回】 本発表③:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第8回】 本発表④:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第9回】 本発表⑤:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第10回】 本発表⑥:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第11回】 本発表⑦:史料の読解と史料に関する調査・考察の報告
- 【第12回】 本発表の課題や問題点の整理(オンライン)
- 【第13回】 補足発表①:本発表の補足
- 【第14回】 補足発表②:本発表の補足
- 【第15回】 補足発表③:本発表の補足／レポートについての説明